

広報 Public relations of mikawa town

みかわ

令和8年
2026

8

No.834
August

Contents

- ▶【特集】いつもの給食は、三川ならではの
- ▶子ども広場〈子育て支援センター〉
- ▶まちかど写真館
- ▶食のみかわおしながき

三川町LINE
公式アカウント

友だち追加は
こちらから



ID:@mikawa-town

あふれる笑顔 みんなが住みやすいまち ハートフルタウン みかわ

給食僕が一番食べるんだ

横山小学校 給食の時間



特集



いつもの給食は、三川ならではの

～できたてのおいしさと、地域の恵みをいただきます～



毎日の「いただきます」の 向こう側



毎日の給食の時間。子どもたちは、友達と顔を合わせ、「いただきます」の声とともに、温かい給食を味わっています。何気なく過ぎていくこの時間ですが、その一食が子どもたちのもとに届くまでには、実は町ならではの工夫が詰まっています。

みなさんは、学校給食がどこで作られているか、考えたことはありますか？大きな市では工場（給食センター）で作られています。町では、すべての小・中学校に調理室があり、それぞれの学校で給食を作っています。調理した料理と炊きたてのごはんを、学校の中で準備し、子どもたちに提供しています。

学校で給食を作るからこそ、できたてのおいしさを味わえる。温かいものは温かく、冷たい物は冷たく。温度を感じながら食べられる。そんな毎日の「おいしい」は、決して当たり前のものではありません。

いつもの給食を少しだけ違う角度から見ると、そこには、子どもたちの「いただきます」を支える、さまざまな思いがあります。

今日も子どもたちが楽しみにしている給食。その一食の向こう側を、少しのぞいてみませんか。

実は給食も「勉強」の時間

給食は、単にお腹を満たすためだけのお昼ご飯ではありません。学校給食法で、食事を通して子どもたちの豊かな心と体を育むための、さまざまな目標が定められています。

○からだと健康をつくる

バランスの良い栄養を摂取し、健康な体を保つとともに、生涯にわたる正しい食習慣を身に付けます。

○豊かな心と協調性を育む

配膳や片付けを自分たちで協力して行い、友達と一緒に食事を囲むことで、思いやりの心や社会性を育みます。

○自然の恵みと人々に感謝する

命や自然の恩恵への理解を深めるとともに、食材を育てる生産者や調理員さんなど、食に関わる人々の働きに感謝する心を養います。

○地域の食文化と食卓の関わりを知る

自分たちの住む地域の優れた食文化や、食料が手元に届くまでの仕組みについて正しい理解を深めます

できたてを、みんなの手で つくる・配る・食べるがつながる

給食時間

学校の調理室から届く、できたてのごはんは温かいおかず。それを教室やランチルームへ運び、盛り付け、テーブルを整えるのは子どもたち自身です。調理員さんの手仕事と、子どもたちのチームワークが重なって、三川町の美味しい給食時間が始まります。

あたたかいご飯は、 実は当たり前ではない

実は、県内で給食を各学校で作っている「自校炊飯」を行っているのは、全体のおよそ2割ほどしかありません。

毎日できたての料理や、炊きたてのごはんが給食に並ぶことは決して当たり前ではなく、三川町だからこそ味わえる特別な恵みです。

取材中、子どもたちが笑顔で話してくれた「給食、毎日すっごくおいしいよ!」という何気ないその一言が、三川町の給食の魅力を物語っています。

自分たちの手で

「準備・配膳」

給食の時間は、子どもたちの自主性や協調性を育む大切な学びの場でもあります。エプロンを身につけ、手洗いを済ませたら準備スタート。テーブルを拭く人、食缶やごはんを運ぶ人、丁寧に盛り付ける人。自分の役割に責任を持ち、声を掛け合いながら、一人ひとりが進んで準備に取り組みます。



準備の最初の一歩として、各テーブルを一生懸命に拭いています。



配膳で特に大切にしているのは、食缶に給食を残さず、みんなで綺麗に配り切ること。上手に盛り切るのが難しいときは、「もう少し増やせるよ!」「あと少し分け合おう」とみんなで協力し合いながら、手際よく食卓を整えていきます。



▲1人ひとりの席へ行き声掛けをしながら配っています。

小学校は「ランチルーム」 中学校は「教室」で楽しむ 給食時間

小学校では全校児童が「ランチルーム」に集まって給食を味わいます。学校によって縦割り班で机を囲んだり、学年ごとでまとまったりとスタイルは様々ですが、他の学年やクラスの仲間とのつながりを深める大切な場になっています。

一方、中学校では各教室で給食をとります。配膳室から自分たちの教室まで、重い食器や食缶をぜんぶ運ぶのも子どもたちの役目。クラスの仲間と協力しながら準備を進め、慣れ親しんだ教室で和気あいあいと給食を楽しんでいます。



地域・暮らし

三川町の恵みを、いただきます



地元産のお米と野菜、 地域への愛着と感謝

毎日の給食でほぼ必ず登場するのは、町で大切に育てられた三川町産のお米です。各学校で炊き上げる地元のおいしいお米を味わえることは、子どもたちにとって大きな魅力です。

さらに、地元の恵みはお米だけではなくありません。旬の時期に、庄内でとれたピーマンやねぎ、大根、しいたけなどが食材として使われることもあります。

身近な場所で作られた食材を味わうことで、自分たちの町にはおいしい

いものがたくさんあるという地域への愛着、そして生産者さんへの感謝の気持ちが自然と育まれています。

1年を通して楽しむ、 季節で変わる地元のお米

さらに、時期によってお米の種類が「はえぬき」「つや姫」などに変わるのも大きな魅力です。

令和7年度は、4月から10月までは冷めてもおいしいと親しまれている三川町産「はえぬき」が、そして11月から3月にかけては、ツヤと甘みが特徴の「つや姫」が給食に登場しました。

特につや姫は、普段の三川町産に加え、県産や有機米が提供される日もありました。日によって異なるお米を味わうことで、産地や育て方による味わいの違いを感じることができ

ます。1年を通して地元産の異なるお米を味わう体験は、お米のおいしさや奥深さを知る、大切な機会となっています。

季節の行事や イベントに合わせた献立

毎日の献立は栄養バランスを細かく考慮して作られているほか、季節の行事やイベントに合わせた「行事食」など、子どもたちが美味しく楽しく食べられる工夫が詰まっています。

自分たちの町で作られた食材や、工夫を凝らした献立を通して、子どもたちの食への興味や、食べものを大切にする心がますます深まっています。



▶7月は七夕献立
梅ご飯、七夕汁、星型ハンバーグ、
チキンとキャベツのサラダ、七夕クレープ

取材中のちょっと「マ

撮影中に調理員さんへ元氣よく声を掛ける児童に出会いました。

話を聞くと、給食が始まる前になる献立のレシピを調理員さんへ聞きに来たそうです。以前は給食を残してしまうこともあったそうですが、最近はしつかり食べられるようになり、家でも同じものを食べたいと思うようになったとのこと



作った人の顔が見えるからこそ、料理への興味や「食べたい」という気持ちが自然と育まれているのではと感じます。

町からの支援

令和8年度から給食費の負担軽減をしています

小学校：無償化(1食350円)
中学校：1食415円のうち
110円を町が負担

おいしだけじゃない

安心も、ひとりひとりに



誰もが同じテーブルで、
安心して味わえるように

給食で大切に行っているのは、おいしさだけではなく。近年は、食物アレルギーを持つ子どもたちが増えている中で、そうした子どもたちも、みんなと一緒に安心して楽しい給食の時間を過ごせるよう、学校全体で細やかな安全対策を行っています。

アレルギー対応が必要な献立の日には、保護者の方にもってお知らせするとともに、担任の先生へ事前に対応日であることを伝え、確認を徹底しています。

給食提供の際には、渡し間違いや誤食を防ぐため、先生が本人の席まで直接給食を運び、「今日はアレルギー対応の献立だよ。」と本人へ丁寧に声掛けを行っていました。



▲あらかじめ盛り付けられた状態で提供されます。家庭から持参した容器は分かりやすいように保管されます。

アレルギー対応が必要な献立の日には、家庭から持参した代替食があることを示す札が先生の机に置かれます。



さらに、持参した代替食についても、配膳ミスを防ぐため一目でわかるよう保管場所を工夫しています。一人ひとりの健康を守り、「みんなと同じ空間で、安全に美味しく食べる喜び」を叶えるために、給食室と教室、家庭がしっかりと連携し、日々の安全を支えています。

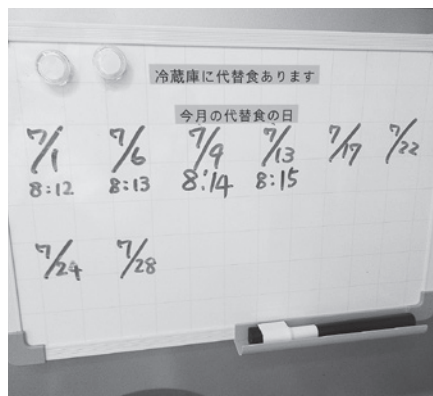
万全の体制を目指し、
先生方も学びを重ねます

日々の対策だけでなく、学校全体でアレルギーへの対応力を高める取り組みも行われています。

各校の養護教諭や栄養教諭、調理員が集まる「アレルギー対応打ち合わせ会」を定期的に開催。現場での困りごとや悩みを共有し合いながら、アレルギーに関する知識と実践力を高めています。

会には医師を講師として招き、日頃の疑問や不安な点を直接質問できる機会も設けています。

事故を絶対に起こさないために、今できることは何か。給食に関わる全員が子どもたちの安心・安全を第一に考え、日々学びと改善を重ねています。



▲持参した代替食が必要になる日は、事前に分かるよう書き出されています。

「いただきます」の
向こう側にあったもの

今回、毎日の「いただきます」の向こう側をのぞいてみると、あたたかな食の風景と、たくさんの思いがありました。

学校の給食室でつくるからこそ味わえる温かい食事に、配膳を協力し合う子どもたちの姿。そして、地域の恵みを生かした献立や、安心・安全を守り続ける先生たちの努力。私たちが目にする毎日の給食の時間は、決して「当たり前」ではなく、多くの人に支えられていました。今日も学校いっぱい響く「いただきます」の声とあふれる笑顔。それは、町全体で子どもたちを大切に育んでいる証です。

三川町の給食はこれからも、おいしさと安心をのせて、子どもたちのすこやかな毎日を支えていきます。



子どもひろば

三川町子育て支援センターより

子育て支援でつなぐ地域の絆

三川町子育て支援センターは令和2年7月に開所し、今年で7年目を迎えました。開設当初から、三川町更生保護女性会や、中高生ボランティアサークル「来夢来人」の皆さまが、いつも活動を温かくサポートしてくださっています。こうした世代を超えた地域との関わりは、当センターの自慢であり、大きな支えです。

おかげさまで、昨年度の来館者は前年比15.9%増の35,768人を記録し、地域の交流拠点として着実に育ってきました。

現在は、親子で遊べる場や子育て相談の機会を広げながら、皆さんが気軽に会える場所づくりを目指しています。今回は、最近の活動から2つの事例をご紹介します。

☆子育て支援室と連携した「つながるカフェ」

5月14日、三川町子育て支援室との新たな共催事業として「つながるカフェ」を開催しました。これは、育児に奔走する産後のお母さんたちに、ホッと一息つける時間を提供するための、赤ちゃんとお母さんのための特別な食事タイムです。（詳細は前号）

参加者からは、「他のお母さんとお話しできて癒やされた」「医師や助産師さんに気軽に相談できて心強かった」「スタッフのおかげでゆつくり食事ができた」といった喜びの声を多数いただきました。

最近ではお父さんがお子さんを連れて一人で来館されることも増えていますが、その一方で、夜泣きやお世話で多忙を極めるお母さんたちの現実は今も変わりません。こうしたリアルな声を受け、私たちは寄り添う支援



町長コラム

「誠・心・誠・意」

「自分は大丈夫」が一番危ない

テレビなどで連日のように報じられる特殊詐欺のニュースを見ても、「自分は騙されない」「自分には関係ない」と思っていないでしょうか。その「自分は大丈夫」という油断こそが、詐欺師につけ込まれる最大の隙です。

7月6日、山形県庁で開催された「特殊詐欺被害撲滅推進協議会」に出席しました。昨年の県内における被害額は初めて10億円を超え、今年も深刻なペースで被害が発生しています。高齢者の方だけでなく、SNSを通じた詐欺で若い世代が被害に遭うケースも急増しており、誰もが標的になり得る時代です。

それを物語るように、私自身の名前が詐欺の道具として使われる出来事がありました。先日、送り主が私の名前になった不審なメールが届く事案が発生したのです。文面は「お疲れ様です」という挨拶から始まり、「業務連絡で利用するため新しいLINEグループを作成し、2次元コードを送ってほしい」というも

のでした。慣れない人によつては、うっかり本物の指示かと信じてしまいそうになる文面です。「なりすまし」手法で人を騙そうとするところが、身近で起きていました。詐欺は決してテレビの中だけの出来事ではなく、私たちのすぐそばにある脅威なのです。

被害を防ぐために最も重要なのは、「自分は騙されない」という過信を捨てることです。詐欺師は私たちの隙につけ込み、巧みな言葉で冷静な判断を奪います。だからこそ、見覚えのない連絡や急な指示には決して一人で判断して従わず、まずは一度立ち止まり、家族や警察、役場へすぐに相談してください。「何かおかしい」と感じるその違和感こそが、自分と大切な家族を守る最大の武器になります。一人ひとりが高い危機意識を持ち、地域全体で声を掛け合いながら、被害ゼロの安心な町をみんなで築いていきましょう。



の輪をさらに広げていく決意を新たにしました。また、当施設では「産前・産後サポート講座」もスタートしています。専門職の方々と連携をさらに深め、より質の高い支援体制づくりに取り組んでまいります。

☆押切小学校2年生による「町たんけん」

6月29日、押切小学校2年生の皆さんが「町たんけん」で当センターを訪れてくれました。開所当時はまだ小さかった子どもたちが、立派に挨拶やインタビュをする姿に、スタッフ一同、健やかな成長への大きな喜びを感じました。

説明の中で「人は大人になるまでどのくらいかかるかな?」とクイズを出すと、「30歳!」「40歳!」と元気な答えが返ってきました。確かに法律上は18歳が成人の節目となります。しかし「真の大人になるためには、私たちはもつと学び続ける必要があるのかもしれない。子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

小さなお子さんを育てるお父さん、お母さんの日々の苦労は並大抵のものではありません。人間には、幼い頃の記憶を忘れてしまつ「幼児期健忘」という現象があります。だからこそ今回の訪問では、子どもたちが「自分はこれほど愛され、守られて大きくなったんだ」というありがたさを、改めて心に留めてほしいという願いを込めて問いかけました。

同時に、当センターが子育てに奮闘している親御さんを全力で応援する場所であることもお伝えしました。子どもたちが周囲からの愛情を再認識し、これからも健やかに育っていくことを願っています。

☆子育て支援の輪を広げてまいりましょう

子育てという大仕事は、決して一人で抱え込むものではありません。どれほど時代が進んでも、Aー任せにはできない、人間らしい温もりに満ちた営みです。

私たちは、子育て支援を通して人と人の心をつなぎ、その絆をより深めていきたいと願っています。お父さんやお母さん、地域の皆さま、そして専門職の皆さまと共に、地域全体で子どもたちの成長を見守る「子育ての町・三川町」を目指して、これからも一歩ずつ進んでまいります。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



三川文芸コーナー

俳壇

羽黒山詣で茶店の心天

朝露を踏みし除草や真夏前

姉が読む父の戦記の終戦日

落ちてなほも沙羅の花の白さ増し

輝けしわが栄光や夏の夢

整いて日の返したる柿若葉

庄内の平野一望青田風



工藤ひろし

佐藤 誠爾

曾根 啓視

庄野すみれ

土田 秀

春山 夏海

菅原たけお

広報クイズ&プレゼント

今月のプレゼント

3名様

なの花温泉 田田

入浴券

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※プレゼントを提供いただけるお店・団体を随時募集しています。

詳しくは企画調整課 ☎35-7013(3)まで。

問：火山防災の日は何月何日?

「〇月〇日」

○応募方法 クイズの答え、「広報

みかわ」への感想や意見、氏名、住所を書いて、申込みフォームまたはファックス(66-3138)から応募ください。

※8月25日(火)締切り



7/7
(水)

活発なコミュニティ活動のために 宝くじ助成で公民館エアコンを整備



このたび猪子町内会では、コミュニティ助成事業として、宝くじの助成金により、公民館にエアコンを整備しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実と強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するために行っています。

整備された機材の活用により、地域コミュニティ活動のさらなる活性化が期待されます。

まちかど写真館

7/7
(水)

花火大会は浴衣で！ 浴衣着装体験



(三川中)

三川中学校で浴衣の着装体験が行われました。慣れない浴衣に苦戦しながらも、自分で浴衣を着た生徒たち。最後は講師の先生の話真剣に聞きながら、丁寧にたたむ作法に挑戦しました。着る楽しさから美しい片付けまで、伝統文化の奥深さを肌で感じる一日となりました。

7/8
(水)

歌声なの花との交流会



三川町老人クラブ連合会「歌声なの花」とみかわ幼稚園の交流会を開催しました。お互いの歌声を披露し合った後、子どもたちから「ありがとう」と感謝をいただき、世代間の絆を深める充実したひとときとなりました。

7/8
(水)

有限会社スエヒロより 絵本を寄贈いただきました



(役場)

有限会社スエヒロより、絵本「おたがいさまのまち ふくしま」を寄贈いただきました。各小学校で大切に読ませていただきます。ありがとうございます。

7/16
(木)

第76回 社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な取り組みです。



(役場)

町内啓発キャラバン出発

本町では、保護司会三川町分会と三川町更生保護女性会による啓発活動が行われました。

また、町内16事業所からこの運動に対する募金として、総額157,000円が寄せられました。

この募金は、犯罪や非行の防止と立ち直りを支える地域活動に活用されます。



メッセージ伝達式

お知らせ Information 2026 August

8

町からのお知らせ



Jアラート情報伝達試験

防災行政無線によるJアラートの情報伝達試験が行われます。

○日時 8月26日(水) 午前11時

○放送内容

「これはJアラートのテストです」

○問合せ先 危機管理室

☎ 35-7010

斎場使用料(自己負担額)を改定します

燃料費等の高騰に伴い、安定的な斎場運営を維持するため、斎場使用料を改定します。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

○改定日 10月1日から

○対象斎場 鶴岡市斎場(鶴岡斎場・藤島斎場)、酒田市斎場、庄

内町火葬場

○改定後自己負担額 17,000円

※改定日より前に死亡届を提出された場合でも、火葬の実施日が改定日以降となる場合は改定後の使用料が適用されます。

○問合せ先 町民課 住民係

☎ 35-7025

催 健さんのからだつうしんぽ週間 + 目の健康チェック

○日時 8月31日(月)～9月4日(金) 午前9時～午後4時

○会場 役場 1階待合ホール

○内容 健さん(体組成計)での無料測定、目の健康チェック

【健さんに乗ると分かること】

- 体重 ● 骨量 ● BMI ● 体水分量
- 体脂肪率 ● 身体年齢 ● 内臓脂肪
- 指数 ● 基礎代謝量 ● 筋肉量 など

【目の健康チェックで分かること】

- ドライアイ ● 緑内障や白内障のリスク など

※希望者には、保健師・栄養士による結果説明を行います。

※妊婦、心臓ペースメーカー使用の方、18歳未満の方は、安全および機械の性能上、測定できません。

○問合せ先 健康福祉課 健康係

☎ 35-7033

コンビニでの証明書交付サービスをご利用ください

マイナンバーカードと4桁の暗証番号(利用者証明用)を利用して住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できるコンビニ交付サービスをご利用いただけます。町内町外を問わず、お近くのコンビニ等に設置されているマルチコピー機で証明書を取得できますので、ぜひご利用ください。

○取得できる証明書等

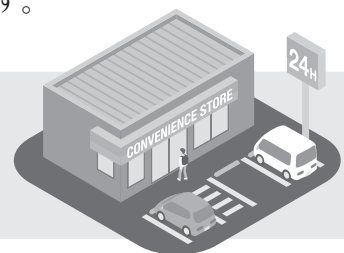
証明書の種類	手数料(1部)	利用時間帯※	取得できる範囲
住民票の写し	400円	6時30分～23時00分	本人及び本人と同一世帯分(世帯主・続柄の有無、本籍・筆頭者の有無を選択できます。)
印鑑登録証明書	400円	6時30分～23時00分	三川町で印鑑登録されている本人分

※システムメンテナンス等により、ご利用いただけない場合があります。

※同世帯の方が住所異動中の場合、住民票の取得はできません。

取得
できない
もの

- ・住民票の除票(死亡・転出)
- ・改製された住民票(住所歴・氏名の変更履歴)
- ・住民票コード、個人番号が記載のもの など



※役場町民課入口付近にも同様の端末を設置しています。

お待たせすることなく上記証明書を交付できますので、ぜひご利用ください。

○問合せ先 町民課 住民係 ☎ 35-7025

「年長児おやこクッキング」 参加者募集

○日時 9月26日(土)、27日(日)
午前10時～午後1時

○会場 三川町公民館

○メニュー 彩りちらし、プリンアラモード

○対象 年長児とその保護者

○定員 各日7組(申込多数時抽選)

○持ち物 エプロン、三角巾、手拭きタオル、牛乳パック2枚

○申込み締切り 9月7日(月)まで

○申込み・問合せ先 健康福祉課健康係
☎35-7033

相人権・行政相談会

○日時 9月1日(火) 午後1時30分～3時30分

○会場 社会福祉センター

○相談内容 人間関係や生活環境の問題に関する悩み、行政機関等の業務に関する苦情要望など

○問合せ先

人権 町民課 住民係

☎35-7025

行政 企画調整課 企画調整係

☎35-7013

その他のお知らせ



文化庁伝統文化親子教室事業

「箏」「三味線」講座

○期間 12月までの土曜・日曜日(6回程度)

○会場 三川町・鶴岡市・酒田市の公共施設など

○内容 箏や三味線の演奏習得

○対象 幼児～高校生

※親子での受講もできます。

○受講料 無料

※楽器は当会で準備します。箏貸爪をお持ちの方はご持参下さい。

○申込み・問合せ先 山形箏曲彩音会
☎090-9425-8824

女性のキャリア・リスタート応援！

登録のための説明会

県内で働きたい女性の就職活動を無料でサポートします。まずは、登録説明会へご参加ください。

○日時 9月8日(火) 午後1時30分～(90分程度)

○会場 鶴岡市勤労者会館 第3研修室

○対象

県内で就職を希望する女性(概ね20歳～50歳未満)

※学生は対象外

○申込み・問合せ先 キャリアバンク(株)
☎023-673-0515

申込みは、こちらから▼



スタンプを集めて家族で音楽会へいこう 催 わくわく★スタンプラリー わくわく♪音楽会

◆わくわく★スタンプラリー

○期間 8月22日(土)～10月18日(日)

○会場 庄内地域の子育て支援センター・児童館

○対象 乳幼児とその家族

○内容 施設利用時に、台紙にスタンプを押印。スタンプを3個た

め応募すると、応募者全員に参加賞プレゼント。さらに、わくわく♪音楽会にも申込み可能。(抽選で50組招待)

◆わくわく♪音楽会

○日時 11月22日(日)

午前10時～11時

○会場 子育て交流施設テオトル

○問合せ先 庄内地域子育て応援協議会事務局(庄内総合支庁こども家庭支援課)
☎66-2104

詳細は、こちらから▼



「講演公開講座」死と向き合い豊かに生きる

○日時 8月30日(日) 午後2時～3時30分(予定)

○会場 ホテルリッチ&ガーデン酒田

○内容 清水 研氏(公益財団法人がん研究会有明病院 腫瘍精神科部長) によるがんところこのケアに関する講演

○参加費 無料

※申込み不要です。直接会場へお越しください。

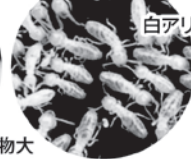
○問合せ先 日本海総合病院 医事課 診療支援係
☎0234-25-3364

見逃すな!! シロアリの犯行現場

浴室や脱衣所などで羽アリを見たらすぐに相談してください。

シロアリの繁殖期は5月から6月頃です。この時期には羽アリが群れをなして飛びまわります。比較的発見しやすい時といえます。この頃、羽アリを見かけたら要注意です。

羽アリは白アリ突然現れる



食品工場・店舗・ビル・住宅等どんな場所でもお気軽にご相談下さい。

IPM Integrated Pest Management 総合有害生物防除管理 本 社: 〒998-0105 酒田市広野新田字川端割70-2
有限会社 サプラス・サニー消毒 ☎0234-92-2400 サプラス 検索

相 生活あんしんネットやまがた
生活なんでも相談ダイヤル

○日 時 8月27日(木)、28日(金)
午前10時～午後5時

○内 容 生活全般に関する悩みごとや困りごとの相談

○相談方法 電話(通話料無料)

○相談専用電話番号

☎0120-39-6029

相 酒田市無料法律相談

○日 時 9月4日(金)

午後1時30分～4時30分

○定 員 先着6人

○申込み開始日 8月21日(金)

○会場・申込み・問合せ先 酒田市

まちづくり推進課 市民相談室

☎0234-26-5726

相 見えない見えにくい方
スマホパソコン何でも相談会
&機器展示会

○日 時 9月8日(火)

午前10時～午後3時

○会 場 鶴岡市中央公民館2階

第2会議室

○内 容 スマホやパソコンなどの
使い方に関する個別相談

※参加費無料。事前予約をお勧めし
ていますが、当日参加も可

測量作業員急募
(アルバイト 2名 資格不要)

測量補助、伐採、杭打、その他

【勤務】8:30～17:00

【給与】9,000円/日額(通勤費別途)

【休日】土曜、日曜、祝日



☆～☆～☆～☆～ お問い合わせ～☆～☆～☆～☆～
〒997-1321 三川町大字押切新田字対馬105-17
有限会社月山測量設計 ☎0235-66-5333

日本赤十字社山形県支部山形県
赤十字血液センター 職員募集

募集職種	・一般事務職 ・看護師職
受付期間	9月18日(金)必着
試験日	10月18日(日)

詳細は、こちらから▶



○問合せ先

日本赤十字社
山形県支部

☎023-641-1353

☎023-631-5930

※株式会社トラストメディアカルによる
機器展示&相談会も同時開催
○対象 視覚障害の方、その家族
や関係者の方
○申込み・問合せ先 県視覚障がい
者情報センター

8月26日は「火山防災の日」

国民の皆さんに活火山対策についての関心と理解を深めてもらうため、8月26日(水)は「火山防災の日」と定めています。

活火山は、県内では鳥海山、肘折、蔵王山、吾妻山があり、火山災害を引き起こす可能性があります。

「火山防災の日」を一つのきっかけとして、登山などで活火山を訪れる際には避難場所を確認しておくなど、火山災害に備えましょう。

火山防災の日
気象庁特設サイト▶



○問合せ先 山形地方気象台
☎023-622-0632

確かな実績!! 生徒受賞歴

【全国少年新書】入選3名
【伊勢神宮奉納】神路山賞2名
【JA共済書道】銀3名、銅1名
【田川書初め】特別賞15名
【ふれあい書道】筆部大賞
【人権書道】荘内日報社賞
三川町教育委員会賞
他多数

行き アソビパキッスマカワ様15:30出発→
ウエルネス学童保育クラブみかわ様→
習字教室(おけいこ1H程度)

帰り 習字教室17:00頃出発→
ウエルネス学童保育クラブみかわ様→
アソビパキッスマカワ様

第42回(2026年)
高円宮杯日本武道館大展覧会
!!日本武道館賞3名受賞!!



井上さん(中1) 佐藤さん(小6) 小林さん(小3)
体験教室実施中(要予約)
少しでも興味のある方はお気軽にお越しください

学童様専用 送迎料月500円

毎週水曜日送迎付で通っていただけます。※定員になり次第受付終了。お早め!!

キャンペーン実施中 生徒募集

●みかわ会館
・水曜日 15:00～18:30
・木曜日 16:00～18:30
・土曜日 8:30～11:30/14:00～16:00

指導歴26年
安心してお任せください



大瀧しのぶ
れいこう
(雅号:黎光)

教室の様子をご覧いただけます!!
お問合せはLINE@からでも



LINE@

大瀧習字教室
☎080-1859-0117



OTAKI.SHUJI
Instagram

自衛官等採用試験（令和8年度採用予定）

募集種目	試験日	試験場所（予定）	申込み期間
予備自衛官補 （一般・技能）	筆記試験・適性検査（WEB）： 9月12日（土）～14日（月）※ ²	任意の場所	9月10日（木）まで
	口述試験・身体検査：9月19日（土）	神町駐屯地 （東根市）	
一般曹候補生	1次試験（WEB）： 9月17日（木）～20日（日）※ ²	任意の場所	9月1日（火）まで
2等陸・海・空士 （任期制自衛官）※ ¹	筆記試験・適性検査（WEB）： 9月17日（木）～30日（水）※ ²	任意の場所	8月18日（火）～ 9月10日（木）
	口述試験・身体検査： 9月26日（土）～28日（月）※ ²	神町駐屯地 （東根市）	

自衛官等採用試験（令和9年度3月～4月採用予定）

募集種目	試験日	試験場所（予定）	申込み期間
航空学生	1次試験：9月19日（土）または26日（土）	酒田市・山形市	8月28日（金）まで
防衛大学学生	推薦試験：9月19日（土）または20日（日）	仙台駐屯地 （仙台市）	9月5日（土）～ 8日（火）
	総合選抜 1次試験：9月19日（土）		
	一般 1次試験：10月31日（土）	食糧会館 （山形市）	10月15日（木）まで
防衛医科大学校 看護学科学生 （自衛官候補看護学生）	1次試験：10月17日（土）	山形地方 合同庁舎 （山形市）	10月2日（金）まで
防衛医科大学校 医学科学生	1次試験：10月24日（土）	食糧会館 （山形市）	10月8日（木）まで

※¹ 「自衛官候補生」から名称を変更し、任用制度・処遇等も改正されています。

※² 期間のうち1日。詳しくは、お問い合わせください。

○申込み・問合せ先 自衛隊山形地方協力本部鶴岡出張所
☎ 22 - 0466



▲ホームページは、
こちらから



▲メールでのお問い合わせは
こちらから

広告

急募 いろり火の里 スタッフ募集

① 社員募集

- ▶和食処なな味 料理人
- ▶なの花温泉 田田 施設管理員（2名）



② パート・アルバイト募集

- ▶なの花温泉 田田 清掃員（3名）
※65歳くらいまでの方



いずれも長期で働ける方歓迎 詳しくはお問合せください

いろり火の里 株式会社みかわ振興公社 0235-66-4833（代）
お問合せ先：総務 高橋まで

エアコン取付します

（電気工事含む）

恩田電気

問合せ先

電話 0235-66-3498

携帯 090-8927-9638

あかるさかおるの スケッチブック No.24

バックナンバーは、町ホームページで
まとめて読むことができます▶



“ドリームイーターは誰？”

この夏、自分らしい一歩を踏み出したい人のための学びの場「コミュニカレ庄内」をスタートしました。そこで出会った一言が、最近少し臆病になっていた私への問いかけのようで、強く心に残っています。

「自分自身が、自分のドリームイーターになっていないか。」

ドリームイーター。夢を食べてしまう人。でも、それは必ずしも外にいる誰かではなく、自分の中にいることもあります。「今の環境ではどうせ無理だろう。」「私にはできないかも。」「周りが認めてくれないかも。」そんなふうに、自分で勝手に限界を決めてしまったり、まだやってもいないのに諦めてしまったり…。きっと誰にでも、そんな経験があるのではないのでしょうか。自分の幸せを誰より願っているはずなのに、自分を守るために抱えてきた思い込みが、いつの間にか夢まで食べてしまっているのかもしれません。

私は普段、「うまくいかないのは、あなたのせいじゃないかもしれない。社会の仕組みのせいかもしれない。」と伝えています。経済的な理由や生まれた環境、健康上の理由など、わかりやすい障壁から、世の中に根付いている隠れた偏見まで、自分の努力だけでは越えられない壁があることも事実です。

でも同時に、自分の中にある思い込みが、一歩を止めてしまうこともあります。だからこそ、私は学び続けたい。新しい視点や人との出会いは、自分では気付かなかった偏見や思い込みをほどくきっかけをくれるからです。

さて、あなたの夢を食べているのは、誰でしょう。



【このコラムを書いている人】

すがわら さやか
菅原 明香（あかるさかおる）

ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなども行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。



庄内交通バスまつり 2026

バスを見て、乗って、楽しもう！

バスの展示・写真撮影・乗車体験をはじめ、バスと綱引きや庄内交通オリジナルグッズの販売など、楽しいイベントが盛りだくさん！

○日 時 9月23日（水・祝） 午前10時～午後2時

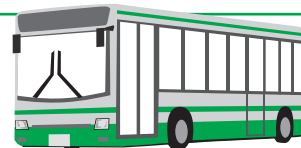
○会 場 エスモール正面駐車場ほか

○問合せ先 庄内交通株式会社 乗合バス事業部

☎22-2600（平日：午前9時～午後5時）



▲詳細は、
こちらから



同時開催

バスカード・実証実験

8月17日（月）～9月27日（日）

※詳細は後日

お知らせします。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和8年7月届出（敬称略）

田村 馨子（91歳）土 口 渡邊 元雄（87歳）成田新田

小林ふあき（99歳）横 川 小林 絹（71歳）小 尺

ご家族等から広報掲載の承諾をいただいた方のみ掲載しています。

ふるさと応援寄附金
ありがとうございました

7月分 569人



◁ 人口の動き ▷
（令和8年7月末現在）
（ ）内前月比

■人口数／6,898人（増2人） 男3,413人（増4人） 女3,485人（減2人）
増減の内訳・転入19人・転出▲14人・出生3人・死亡▲6人
■世帯数／2,559戸（増6戸）



食のみかわ おしながき

～食改さんの料理紹介 No.50～



▲バックナンバーはこちら

食生活改善推進員(通称：食改さん)によるレシピの紹介コーナーです。

トマトジャム



【材料(できあがり2カップ)】

トマト…………… 1kg(大4個)(種を取って900g)
砂糖…………… 160g
レモン汁…………… 大さじ1
レモンの皮…………… 小さじ1(わたしは取る)

【作り方】

- ①トマトのヘタを取る。
- ②トマトを熱湯に20秒位入れ、皮がはがれてきたら水に取り皮をむく。(湯むき)
- ③トマトを横半分に切り、種を取り(写真①)ざく切りにする。この時、ヘタの芯の部分を取り除く。
- ④鍋にトマトと砂糖を入れて火にかけ(写真②)沸騰したら弱火で半分まで煮詰める。(写真③)
- ⑤レモン汁と皮のみじん切りを入れてひと煮立ちさせ火を止め冷ます。



写真①



写真②



写真③

ポイント!

- 取り残したトマトの芯があれば、煮ている途中で取る。
- トマトの種は取らなくてもいいが、取ると舌触りがよくなる。
- レモンの皮は、わたの部分が苦いので、できるだけきれいに取り除く。
- 多く作った時は冷凍も可能。



なの花温泉田田 9月のお楽しみイベント

ハワイの風と アロハの心をあなたに…

～【桃いろ キエレ】が 笑顔と癒しをお届けします～

観覧 無料

出演 **Nā Kiele O Ka Lani**
ナー キエレ オ カラニ

日時: 9月12日(土) 13:30～ 会場: なの花温泉 田田

○問合せ先 みかわ振興公社 ☎66-4833

本紙掲載の記事、写真等の無断転載を禁じます。